

## 「小規模建築物基礎設計指針」講習会

主 催 日本建築学会構造委員会 基礎構造運営委員会

後 援 (予定)建築業協会、鋼管杭協会、コンクリートパイル建設技術協会、住宅地盤品質協会、住宅生産団体連合会、全国建設業協会、全国地質調査業協会連合会、地盤工学会、日本基礎建設協会、日本建築家協会、日本建築構造技術者協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会、日本ツーバイフォー建築協会、日本木造住宅産業協会

主 旨 本会の『小規模建築物基礎設計の手引き』は、刊行以来、今日まで 20 年間にわたって小規模建築物の技術の発展に大きく貢献してきた。しかし、最近の法の整備により小規模建築物においても地盤調査や基礎の設計を取り巻く環境が大きく変わり、また、不同沈下の障害や造成宅地地盤のトラブル、最近の地震時の液状化による地盤・基礎の被害など、現行の『小規模建築物基礎設計の手引き』では対応が難しい問題も現れてきた。このような背景のもとに、今回、書名を『小規模建築物基礎設計の手引き』から『小規模建築物基礎設計指針』に変更し、内容もそれにふさわしく改定した。本指針は 12 章より構成されている。内容的には地盤調査や直接基礎の設計はもとより、「施工・品質管理」や「基礎の障害と修復」「環境への配慮」「造成宅地地盤」も独立した章として扱っている。これらは、基礎の設計に直接的にかかわる内容ではないが、読者の要望がきわめて多いことや基礎設計の初心者にとって、設計法だけではなく、その周辺の諸問題についてもわかりやすく解説する必要があると判断したことによる。

本指針の大きな特徴として、直接基礎の設計において許容応力度設計法に基づく「構造設計」のほかに「簡易設計」を提示したことである。ここでいう簡易設計とは、計算による構造設計の結果を考慮して安全側に見込んだ標準図表あるいは簡単なチェック程度で設計が可能な方法である。設計者は自分の判断により、いずれかを選択すればよい。また、本指針では、これまで、不明瞭であった杭基礎と地盤補強の違いを明確にし、地盤補強のみを対象に地盤改良や小口径杭の設計方法を示している。さらに、巻末には計算例も示した。

以上のように、本指針は小規模建築物の設計者および地盤調査や地盤補強工事の技術者にとって有意義な指針であると思います。ぜひ多くの方々がふるって参加されることを期待しております。

参加費 (テキスト含む)

①日本建築学会会員 10,000 円 ②登録メンバー\* 11,000 円 ③後援団体会員 12,000 円

\*登録メンバー: <http://www.aij.or.jp/jpn/CPD/>

テキスト 『小規模建築物基礎設計指針』、B5 判、336 頁

申込方法 参加費をお支払のうえ、必要事項を明記した参加申込書を添えてお申込ください。

なお、お電話での申し込みは受け付けておりません。

期日・会場・会場・申込先・参加費支払い方法・振込先

期日	会場	定員	申込先	参加費支払い方法・振込先
平成21年 2月24日 (火)	横浜市開港記念会館 1号室 (横浜市中区本町1-6)	100名	日本建築学会神奈川支所 〒231-0011横浜市中区太田町2-22 神奈川県建設会館新館5階 神奈川県建築士会内 TEL 045-201-1284 FAX 045-201-0784	*現金書留または銀行振込 ●みずほ銀行横浜支店 普通預金口座 1398388 日本建築学会関東支部 神奈川支所

プログラム

時間	10:00~12:00	13:00~14:35	14:45~15:55	16:05~17:00
内容	第1章 総則 第2章 事前調査 第3章 地盤調査 第4章 荷重 第5章 基礎の計画 藤井 衛 (東海大学)	第6章 直接基礎の設計 第7章 地番補強の設計  伊集院 博 (旭化成ホームズ)	第8章 擁壁・地下室と山留め 第9章 施工・品質管理 第10章 基礎の障害と修復 第11章 環境への配慮 第12章 造成宅地地盤 郭 賢治 (トラバース)	計算例  藤井 衛 (東海大学)

\*講師・時間割りは都合により変更となる場合があります。

# 講習会参加申込書

講習会名・会場	小規模建築物基礎設計指針講習会( 会場)		
参加者*1	フリガナ		会員番号
	氏名		
会員区分*3	<input type="checkbox"/> 日本建築学会会員(個人会員/法人会員・賛助会員*2) <input type="checkbox"/> 登録メンバー <input type="checkbox"/> 後援団体会員(団体名 ) <input type="checkbox"/> 上記以外		
勤務先名		所属部署	
所在地	〒		
電話		FAX	
E-mail			
参加費	円		
支払方法・申込方法*3*4	<input type="checkbox"/> 銀行振込: 指定口座に入金のうえ、申込書(振込銀行欄記入または振込明細書コピー貼付)と参加券送付用封筒(80円切手貼付、宛名記入)を同封し、お申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。		
	<input type="checkbox"/> 現金書留: 本申込書と参加券送付用封筒(80円切手貼付、宛名記入)を同封し、参加費を添えてお申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。		
振込元銀行 (右欄記入の代わりに、振込明細書コピーを貼付いただいても結構です)	銀行名・支店名	銀行	支店
	ご依頼者(社)名		
	振込日	年	月 日
	振込金額	円 (他と合算送金の場合は、通信欄へ内訳をご記入ください)	
関連催し物のご案内	<input type="checkbox"/> 今後、関連する講習会等催し物の案内を希望しない。 (今後、関連する講習会等催し物のご案内をお送りします。希望されない方は、□に・を記入してください)		

- \*1:同一組織での複数名によるお申し込みの際は、参加者全員の①氏名(フリガナ)、②会員番号、③会員区分を通信欄にご記入いただければ、申込書は1枚で結構です。
- \*2:法人会員・賛助会員は、1口につき1名を会員扱いとします。
- \*3:該当区分の□に✓を記入してください。
- \*4:参加費の払い戻しはいたしません。なお、振込手数料等は申込者にてご負担ください。

## 通信欄